

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成30年5月24日(2018.5.24)

【公表番号】特表2018-509503(P2018-509503A)

【公表日】平成30年4月5日(2018.4.5)

【年通号数】公開・登録公報2018-013

【出願番号】特願2017-547471(P2017-547471)

【国際特許分類】

C 09 J 183/07 (2006.01)

C 09 J 11/06 (2006.01)

C 09 J 11/08 (2006.01)

C 08 F 299/08 (2006.01)

【F I】

C 09 J 183/07

C 09 J 11/06

C 09 J 11/08

C 08 F 299/08

【手続補正書】

【提出日】平成30年3月8日(2018.3.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

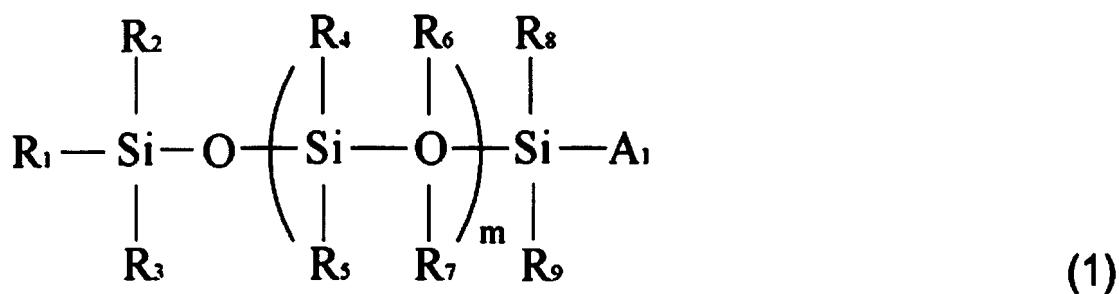
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(a) 少なくとも1種の式:

【化1】



式中、

$R_1 \sim R_9$  は、それぞれ独立して、 $C_1 \sim C_{20}$  アルキル、 $C_1 \sim C_{20}$  アルコキシル、 $C_2 \sim C_{20}$  アルケニル、 $C_3 \sim C_{20}$  シクロアルキルおよび $C_7 \sim C_{22}$  アラルキルからなる群から選択され、

ただし、 $R_1 \sim R_9$  の少なくとも1つは、 $C_1 \sim C_{20}$  アルコキシルであり、

$m$  は、1～1000の整数であり、

$A_1$  は、式(2):

$$(R_{10})_a (R_{11})_b (R_{12})_c R_{13} \tag{2}$$

で表され、

式中、

$R_{1_0}$  は、  $C_{1_1} \sim C_{2_0}$  アルキレンであり、

$R_{1_1}$  は、  $C_{6_1} \sim C_{2_1}$  アリーレンであり、

$R_{1_2}$  は、  $C_{1_1} \sim C_{2_0}$  アルキレンであり、

$R_{1_3}$  は、 (メタ) アクリルオキシであり、

a は、 0 ~ 10 の整数であり、

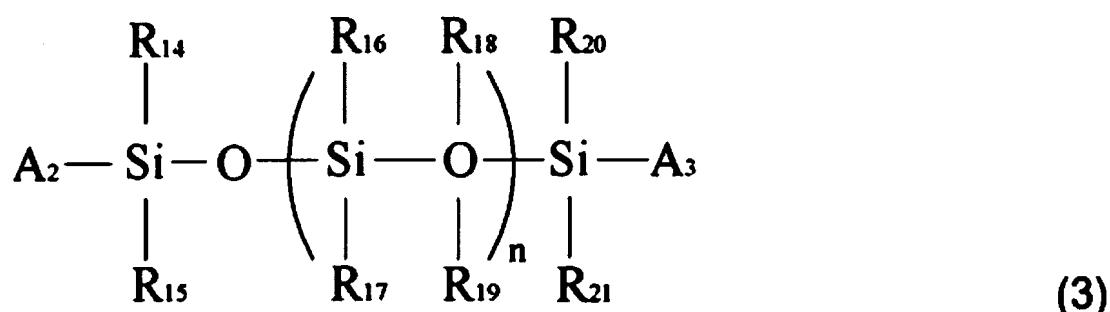
b は、 0 ~ 10 の整数であり、 および

c は、 0 ~ 10 の整数である、

で表されるモノ (メタ) アクリルオキシ末端ポリオルガノシロキサン；

(b) 少なくとも 1 種の式：

【化 2】



式中、

$R_{1_4} \sim R_{2_1}$  は、 それぞれ独立して、  $C_{1_1} \sim C_{2_0}$  アルキル、  $C_{1_1} \sim C_{2_0}$  アルコキシリル、  $C_{2_1} \sim C_{2_0}$  アルケニル、  $C_{3_1} \sim C_{2_0}$  シクロアルキルおよび  $C_{7_1} \sim C_{2_2}$  アラルキルからなる群から選択され、

ただし、  $R_{1_4} \sim R_{2_1}$  の少なくとも 1 つは、  $C_{1_1} \sim C_{2_0}$  アルコキシリルであり、

n は、 1 ~ 1000 の整数であり、

$A_2$  および  $A_3$  は、 それぞれ独立して式：

$$(R_{2_2})_d (R_{2_3})_e (R_{2_4})_f R_{2_5} \quad (4)$$

で表され、

式中、

$R_{2_2}$  は、  $C_{1_1} \sim C_{2_0}$  アルキレンであり、

$R_{2_3}$  は、  $C_{6_1} \sim C_{2_1}$  アリーレンであり、

$R_{2_4}$  は、  $C_{1_1} \sim C_{2_0}$  アルキレンであり、

$R_{2_5}$  は、 (メタ) アクリルオキシであり、

d は、 0 ~ 10 の整数であり、

e は、 0 ~ 10 の整数であり、 および

f は、 0 ~ 10 の整数である、

で表されるジ (メタ) アクリルオキシ末端ポリオルガノシロキサン；

(c) 光開始剤；

(d) 湿気硬化触媒；

(e) 任意に鎖伸長剤； および

(f) 任意に湿気架橋剤

を含む湿気および放射線硬化性接着剤組成物。

【請求項 2】

$R_{1_1} \sim R_{9_1}$  が、 それぞれ独立して、  $C_{1_1} \sim C_{8_0}$  アルキル、  $C_{1_1} \sim C_{8_0}$  アルコキシリル、  $C_{2_1} \sim C_{8_0}$  アルケニル、  $C_{3_1} \sim C_{8_0}$  シクロアルキルおよび  $C_{7_1} \sim C_{1_6}$  アラルキルからなる群から選択される、 請求項 1 に記載の湿気および放射線硬化性接着剤組成物。

**【請求項3】**

R<sub>1~0</sub>が、C<sub>1~8</sub>アルキレンであり、および／またはR<sub>1~1</sub>が、C<sub>6~9</sub>アリレンであり、および／またはR<sub>1~2</sub>が、C<sub>1~8</sub>アルキレンである、請求項1または2に記載の湿気および放射線硬化性接着剤組成物。

**【請求項4】**

aが、1~5の整数であり、bが、0~5の整数であり、cが0~5の整数である、請求項1~3のいずれか一項に記載の湿気および放射線硬化性接着剤組成物。

**【請求項5】**

R<sub>1~4</sub>~R<sub>2~1</sub>が、それぞれ独立して、C<sub>1~8</sub>アルキル、C<sub>1~8</sub>アルコキシリ、C<sub>2~8</sub>アルケニル、C<sub>3~8</sub>シクロアルキルおよびC<sub>7~C<sub>1~6</sub></sub>アラルキルからなる群から選択される、請求項1~4のいずれか一項に記載の湿気および放射線硬化性接着剤組成物。

**【請求項6】**

R<sub>2~2</sub>が、C<sub>1~8</sub>アルキレンであり、および／またはR<sub>2~3</sub>が、C<sub>6~9</sub>アリレンであり、および／またはR<sub>2~4</sub>が、C<sub>1~8</sub>アルキレンである、請求項1~5のいずれか一項に記載の湿気および放射線硬化性接着剤組成物。

**【請求項7】**

dが、1~5の整数であり、eが、0~5の整数であり、fが0~5の整数である、請求項1~6のいずれか一項に記載の湿気および放射線硬化性接着剤組成物。

**【請求項8】**

成分(a)が、全成分の全重量に基づき、40~85重量%の量で存在する、請求項1~7のいずれか一項に記載の湿気および放射線硬化性接着剤組成物。

**【請求項9】**

成分(b)が、全成分の全重量に基づき、10~50重量%の量で存在する、請求項1~8のいずれか一項に記載の湿気および放射線硬化性接着剤組成物。

**【請求項10】**

成分(e)が、全成分の全重量に基づき、1~30重量%の量で存在する、請求項1~9のいずれか一項に記載の湿気および放射線硬化性接着剤組成物。

**【請求項11】**

組成物の硬化した反応生成物が、硬化から7日後に25でASTM D2240に従って測定される1~30のショアA00硬度を有する、請求項1~10のいずれか一項に記載の湿気および放射線硬化性接着剤組成物。

**【請求項12】**

組成物の硬化した反応生成物が、硬化から7日後に25でASTM D412に従つて測定される100%~300%の伸び率を有する、請求項1~11のいずれか一項に記載の湿気および放射線硬化性接着剤組成物。

**【請求項13】**

重量百分率は全ての成分の全重量に基づき、  
40~85重量%の成分(a);  
10~50重量%の成分(b);  
0.1~5重量%の成分(c);  
0.05~1重量%の成分(d);  
1~30重量%の成分(e);および  
0.05~1重量%の成分(f)

を含有する、請求項1に記載の湿気および放射線硬化性接着剤組成物。

**【請求項14】**

請求項1~13のいずれか一項に記載の湿気および放射線硬化性接着剤組成物の硬化生成物。

**【請求項15】**

少なくとも1つの表面上が、請求項1~13のいずれか一項に記載の湿気および放射線

硬化性接着剤組成物または請求項1\_4に記載の硬化生成物で被覆された被覆基材。

【請求項 1\_6】

ディスプレイパネル、タッチパネルまたは光学デバイスを製造する際の、請求項 1 ~ 1\_3のいずれか一項に記載の湿気および放射線硬化性接着剤組成物または請求項1\_4に記載の硬化生成物の使用。